
阿蘇くまもと空港旅客ターミナルビル内で 複合型サービスロボット活用の実証実験を実施

阿蘇くまもと空港を運営する熊本国際空港株式会社（本社：熊本県益城町、代表取締役社長：山川秀明）は、オムロンソーシャルソリューションズ株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：四方克弘）と協力し、複合型サービスロボット「Toritoss」を活用する実証実験を行っております。旅客ターミナルビルの警備、清掃補助、販促活動において、ロボット活用の効果を検証します。少子高齢化の進展などにより警備員や清掃員の人手不足が懸念される中、本実験の結果を踏まえ、将来の空港運営におけるロボット導入の可能性を検討してまいります。

1. 実証実験スケジュール

2024年1月31日（水）まで

2. 実験場所

阿蘇くまもと空港旅客ターミナルビル1階到着ロビー

3. 実験の目的

人手をかけることなく安全に、ロボットの自律運用が可能かどうかを確認するとともに、以下の事項を検証します。

- ・ロボットの警備機能が人による警備の部分的補助になるか
- ・ロボットの清掃機能が人による清掃の部分的補助になるか
- ・ロボットのサイネージが有効な販促ツールになるか

※ロボットに取り付けられている全方位カメラ、定点カメラで監視しながら活動することで安全を確保します。

4. ロボット稼動時間と実験内容

- ・期間中の午前6時半～午後9時半（旅客ターミナルビル営業時間内）
巡回・立哨警備を中心に、販促や清掃（通路主要部分）も行います。
- ・期間中の午後9時半～午前6時半（旅客ターミナルビル営業時間外）
清掃（共用部床全面）をしながら、夜間巡回を行います。



【取材に関するお問い合わせ】

熊本国際空港株式会社 総務・経理部

電話：096-232-2311 FAX：096-232-2500（平日：午前9時～午後5時）